

「第6回認プロシンポジウム」を開催

2022年10月18日

令和4年10月18日（火）にオンラインで『第6回認プロシンポジウム・COVID-19と認知症』を開催しました。はじめに事業推進代表者の和田 隆志 金沢大学長より開会挨拶があり、続いて座長の小野 賢二郎 プロジェクトリーダーから講師の先生方の紹介がありました。

講演はまず、下畑 享良先生（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野 教授）から、「Long COVIDの臨床と病態」と題して、Long COVIDの病態についてご講演いただきました。つづいて稗田 宗太郎先生（昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門 准教授）からは「COVID-19は認知症診療に影響を与えたのか」と題して認知症診療を行う医師の立場からお話いただき、最後に篠原 もえ子先生（金沢大学医薬保健研究域医学系 准教授）からは「コロナ禍が地域高齢者の精神健康状態と活動に及ぼす影響」と題して地域住民に対するコホート研究の結果について、お話をお伺いできました。

認知症研究の第一線で活躍する先生方の講演とあって、活発な質疑応答や討論が行われました。

Long COVID の病態とはどのようなものかという基本病態についてご紹介いただいたのちに、COVID-19 が認知症医療とそれを取りまく社会環境に与えた影響や、コロナ禍が地域高齢者の精神健康状態や活動に及ぼす影響について最新の知見を交えてご講演いただき、その中でどのように医療を行っていけばよいかという問題を考えていくうえで、参加者にとって大変有意義なシンポジウムとなりました。医師、研究者、教育コース履修者等を含め100名を超える参加がありました。

最後に事業推進責任者の堀 修 金沢大学医薬保健学域長の謝辞と挨拶をもって盛況のうちに閉会となりました。



COVID-19 と認知症

座長

小野 賢二郎

金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学 教授
認プロ プロジェクトリーダー

講演内容



1. Long COVIDの臨床と病態

下畑 享良

岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野 教授



2. COVID-19は 認知症診療に影響を与えたのか

稗田 宗太郎

昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門 准教授



3. コロナ禍が地域高齢者の 精神健康状態と活動に及ぼす影響

篠原 もえ子

金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学 准教授

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第6回認プロシンポジウム

日 時／ 2022年10月18日(火) 16:00～17:40

開催形式／ WEB開催 (Zoomウェビナーによるライブ配信)

※後日、オンデマンドでの配信を予定しています。

主催：北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)／(金沢大学・富山大学・福井大学・金沢医科大学)

●お問合せ／北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学医薬保健研究域医学系B棟2階
TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp

《 参加無料 》

事前申し込みが必要です。
「認プロ」ホームページより
申し込みください。

<https://ninpro.jp/>

認プロ

検索



演者：下畑 享良先生
岐阜大学医学系研究科
脳神経内科学分野 教授



演者：稗田 宗太郎先生
昭和大学医学部
脳神経内科部門 教授



演者：篠原 もえ子先生
金沢大学医薬保健研究域
脳神経内科学 准教授



座長 小野賢二郎（金沢大学）